

NO.84

平成13年4月1日発行

SHIMIN PHOTO

市民フォト

KAGOSHIMA

鹿児島

屋外のオブジェ

Outdoor Objet



【夏乃日】

立山 美次 作
～谷山市民会館内～

CONTENTS

「特集」2001かごしま花事情

クローズアップ

太田 敬介さん

ハロー鹿児島

ヤーヤ ザカリアさん

カメラトピックス

学校探訪

甲南中学校

私の好きな場所

たに けいこさん

ふるさとの歴史探訪

シラス台地の歴史

あなたのフォトサロン

春田 千恵子さん

よかタイム

坂上 治比己さん

街角ウォッチング

梅ヶ渊

市民ギャラリー

吉野公民館

館のたからもの

かごしま近代文学館

わが町上空散歩

武岡・原良団地上空から

31

30

28

27

26

24

22

20

18

16

14

12

3

★表紙写真

【菜の花の黄色い絨毯が広がる都市農業センター(大迫町)】

うららかな春の午後、たくさんの人があ
お弁当を食べたり、写真を撮つたり、散
策をしたり、思い思いに楽しんでいます。

2001 かごしま花事情

戸外を歩いているとき、車が停車しているとき、ふと目にに入った花の可憐さや緑のみずみずしさに、心和んだ経験はありませんか。

私たちの心に潤いを与える花たち。今回は鹿児島の花事情を追ってみました。



宮原美智代さんはガーデニング歴5年。ご自宅は愛情いっぱいに育てられ、アイデアたっぷりに配置された花や木に囲まれています。近所の花好きのお友達と苗を交換したり楽しく話が弾む日々。今日は息子さんが手伝ってくれています。



▲甲突川沿いの桜並木



▲姫キンギョソウ～新屋敷



▲アイスランドポピーがゆれる街角

一口メモ ~これからの季節 花壇を飾る 主な花~

市内の花壇には、数十種類の花が使用されています。この中で、主に使われている種類をご紹介します。



■パンジー
春の花壇で最も親しまれている花の一つ。寒さ、病害虫に強く、様々な品種があつて組み合わせを楽しめます。パンジーを小型にしたような種類はビオラといいます。



■キンギョソウ
春の切り花としてよく利用される花です。花壇では矮性キンギョソウ、姫キンギョソウといった、背が低いものがよく使われています。



■ペチュニア
花数が多く、色も様々で目を楽しませてくれます。比較的強い種ですが、加湿に弱いのが難点。最近は雨に強い品種もあります。



■プリムラ・マラコイデス
やはり春にポピュラーな花の一つ。和名はオトメザクラ。



■バーベナ
花壇では5月中旬以降にお目見え。小さな花がじゅうたんのように広がったり、手鞠のように丸くまとまつたり、様々な種類があります。



「季節に合わせて、だいたい3回植え替えをしています。苗は長く持つもの、特に、雨に強いものを選んでいます。
毎年使う花の種類はそれほど違わないのですが、花の組み合わせなどを工夫したいと思っています。市民の皆さんから、参考にしてくださっているという声も聞きますし、年間を通して楽しんでもらえるよう、勉強したいですね。」

市道の花壇や街路樹、公園の草木を管理しているのは、公園緑化課。
花壇の担当をしているのは、柳田美保子さんです。

今、春の、初夏の花があふれています。アイスランドポピーは風にふかれ、姫キンギョソウの可憐な花と緑は野原のようなどかな雰囲気をかもしだしています。

街中の花は

鹿児島花市場の組合長・平猛彦さんに話を聞きました。何か他の地域に比べて特別なことはありますか。

扱う花の種類などは、全国の他の地域に比べて違いがあるわけではありません。ただ、暖かいですから、ひと足早く取り扱いが始まりますね。

それと、一般家庭の花の消費量がほとんどいつも全国一位なのは、特別なことだと思いますよ。

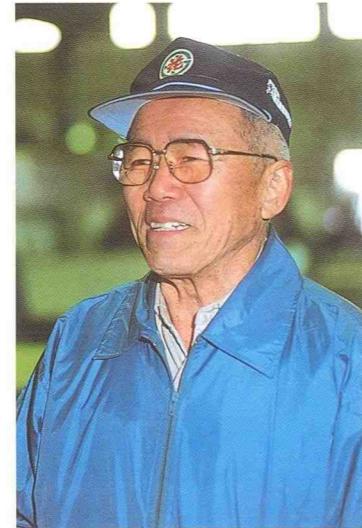
市場で取り扱う花は、どこからくるのですか

県内産が平均すると70パーセントくらいでしょうか。残りの30パーセントのうち、12～13パーセントが国外からの輸入です。台湾やビルマといったアジアの国が多いですね。

世界から、日本各地から 様々な種類の花が集まつてくる



▲菊（取扱い量切り花一位）
枕崎や永良部菊など県内産が多い。スプレー菊などは台湾、ビルマからも。



花はどこから

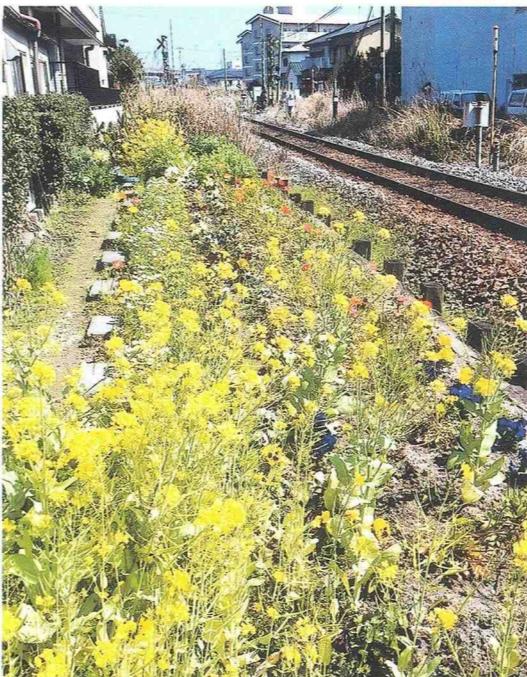
市内には2カ所花市場があります。そのうち、吉野町の花市場を訪ねました。朝7時半からのせりのために、たくさんのお花が運び込まれてきます。

花に携わって約40年。平さんが花について思うことは、花をもつて腹をたてる人はいないと思います。人間関係の潤滑油としての花の威力をもつと生かしてほしいですね。また、植物は不思議なもので、育った気候に近い方が断然長持ちするんですよ。花の特性も知つてもらえたらなと思います。

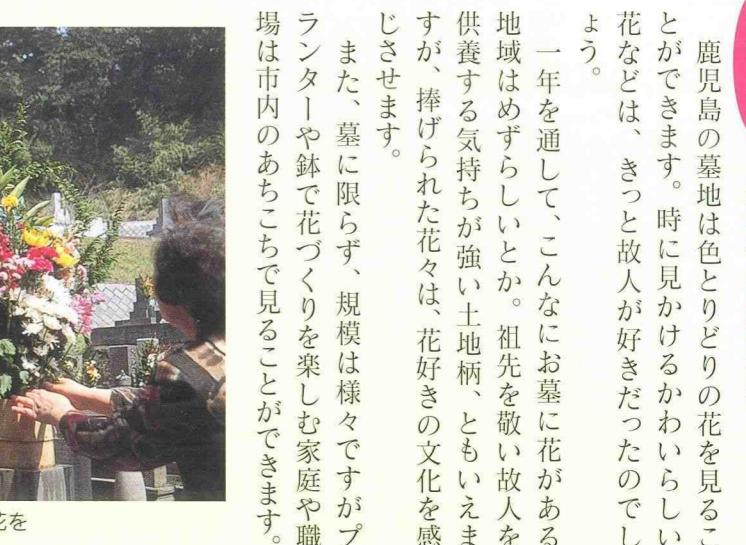
桜ヶ丘五丁目の斎野レイ子さんの家は、その花を見に来る人がいるほどの見事さです。

きれいに花を咲かせるには、どうしたらいいの？とたずねられることも多いとか。「特別なことはしていないので、やはり愛情かな。花は愛情をかけた分、応えてくれるんですよ。」

花は種から育て、土も植え替えの時は日に乾かすなど、手間もかかるのですが、愛情をかけて育てる喜びがあるようです。



▲JR線路脇の花壇



鹿児島の墓地は色とりどりの花を見ることがあります。時に見かけるかわいらしい花などは、きっと故人が好きだったのでしょうか。

一年を通して、こんなにお墓に花がある地域はめずらしいとか。祖先を敬い故人を供養する気持ちが強い土地柄、ともいえますが、捧げられた花々は、花好きの文化を感じさせます。

一口メモ

鹿児島人は花が好き

地域はめずらしいとか。祖先を敬い故人を供養する気持ちが強い土地柄、ともいえますが、捧げられた花々は、花好きの文化を感じさせます。

また、墓に限らず、規模は様々ですがプランターや鉢で花づくりを楽しむ家庭や職場は市内のあちこちで見ることができます。

他にも、商店会や町内会などで共同で花壇をつくるところがあります。町内の明るい雰囲気づくりにも花は欠かせません。

一年を通して、こんなにお墓に花がある地域はめずらしいとか。祖先を敬い故人を供養する気持ちが強い土地柄、ともいえますが、捧げられた花々は、花好きの文化を感じさせます。



赤崎 義則 鹿児島市長

市長に聞く 鹿児島の花

花はお好きですか

花はもちろん植物はすべて好きですね。特に花の可憐な色は、私たちの生活に明るさと安らぎを与えてくれます。

現代社会は、非常にせわしく慌ただしさを感じています。本当に毎日が忙しいですね。このような中、花を取り入れた、花にふれながらの生活は、私どもの心を和ませ、心身をリフレッシュさせてくれます。

花と緑を生かしたまちづくりについて一言

かごしまのまちは、花と緑を存分に生かしたまちづくりがすすめられています。街角に設けられている花壇は、道行く人々の心を楽しませ、太陽に映える街路樹の緑は、南国鹿児島のイメージにぴったりですね。

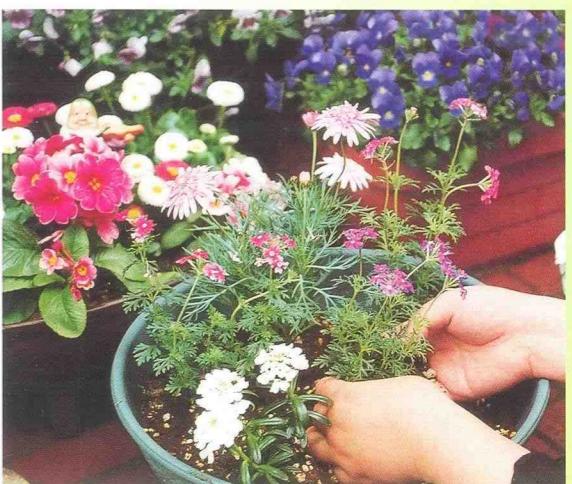
そして、車の窓からかわいらしい花で飾られた家などを目にすることがあります。が、花好きの心優しい家族が住んでおられるんだなど、ほほえましい心地がしますね。



▶かごしま健康の森公園にて



△今日も花市場にはたくさんのお花が集まる。

△「春らしい花を植えたいと思ってます」と苗を選ぶ。
市内の苗物を扱う店にはたくさんの人が訪れる。

土に触れ、育てる喜びもある。▶

切り花を部屋に飾って楽しんだり、育てて、咲かせて楽しんだり、花はいろいろな形で、生活に彩りを添えてくれます。あなたのお好きな形で、生活に取り入れてみてください。

生活に彩りを

スポーツは本来楽しむべきものなんだ

スポーツとは何か

それが、人生を、そしてスポーツをじっくり考える時間を彼に与えた。今まで頭の片隅に追いやられていた疑問が、明確な形となって現ってきた。『楽しさ』がスポーツの原点



高校から始めた100m。実力を開花させ、大學、実業団とともにスプリンターとしての道を歩んだ。鹿児島にやってきてからは、仕事との両立に取り組みつつ、練習に汗を流した。厳しくもあつたが、いい仲間に恵まれ、400mリレーのチーム記録も飛躍的に伸び、全日本実業団選手権で優勝するなど充実した日々を過ごした。

休部の知らせを聞いたのは、リレー記録の更新に、ますます期待が高まっていた矢先だった。急な話に、言葉を失った。気持ちの整理がつかなかった。「これまでスポーツの成績で身を立てて、人生を切り開いてきました。それなのに、こんなことになつて、これまでの生活が全て否定されたような気がしました。」挫折感は大きかった。

スポーツ文化を育てたい

土曜日の午後、トラックの片隅に、スボ

ツウェアに身を包んだ人々が三々五々集まつ

てくる。昨年7月に誕生した彼のサークルは、

40人を超える大所帯に成長していた。いろい

ろな世代が一緒になって、喜々としてスボ

ツに取り組む光景は、彼の意志が間違つてい

なかつたことを証明する。彼の、優しく、力

強く指導する声がグラウンドに響く。

今後、記録会・競技会といったイベントを開いたり、一流の指導者を呼んだりする機会を設けていくつもりだ。陸上から総合スポーツへ、鹿児島から全国へと夢は大きくふくらむ。

「スポーツは文化であり、生活の一部です。いかに楽しく市民がスポーツを楽しむことができるかを根底に置いて活動したいです。中途半端で終わらせたくないですね」短期間のうちにサークルを軌道に乗せつつある彼の搖るぎない信念が、言葉の中にあふれていた。

のはずなのに、どうも小学生のうちから勝ち負けにこだわった育成システムになつてているような気がしたんです。それに、学校や年代といった『枠』にとらわれているようにも思いました』



太田 敬介さん SCC代表

福岡県出身の28歳
フリーのパソコンインストラクターのかたわら、SCCを運営する

鹿児島の風景、人… 故郷に伝えたいものがある



礼儀正しくまじめで研究熱心

鹿児島大学農学部の栄養生化学・飼料化学生研究室がヤーヤさんの仕事場。

ヤーヤさんは現在、緑茶に含まれるカテキンという成分のストレス抑制効果について、ニワトリを使って研究中だ。人間のガンや心臓病などにも応用できるのだという。担当教授の林先生は、「非常に礼儀正しくまじめで、研究熱心。他の研究生の模範ですね」と語る。

故郷は、鹿児島市と同緯度

彼の生まれ故郷はアレクサンドリアから東へ約50キロにあるフーウ(fuwa)。人口約75万人で、緯度も鹿児島市とほぼ同じ。「フーウは全体が騒々しい割には、他人にあまり関心を持たない街です。それに比べて、鹿児島はとても静かで落ち着いた雰囲気がありますし、知らない人にも親切です」とヤーヤさん。「ただ、鹿児島の冬はとても寒い。フーウはもつと暖かい。鹿児島に来て2年になりますが、寒さには今だに慣れません」。

焼酎や黒豚を味わえないのは残念

来日して間もないころは、日本語が分からず実験のときには大変苦労した。「ストレスがたまって体重が10キロ以上も減りました。でも、まだまだ太っているけどね」

もっと知りたい あの国この国

エジプト・アラブ共和国

【あらまし】南北に流れるナイル川沿いと下流のデルタ(三角州)地帯を除く国土の90%以上が砂漠。ナイル河口東のスエズ運河が紅海と地中海を結ぶ面積約100万km²は、日本のほぼ2.7倍。人口6300万人は日本のおよそ1/2。首都はカイロ



【言語・宗教】公用語はアラビア語、90%がイスラム教徒(スンニ派)
【教育】義務教育は6歳から14歳まで。公立学校は無料。
【歴史・文化】ピラミッド・スフィンクスなどで有名な古代エジプト王朝が有名。



ビタミンなどの栄養素も動物の飼料研究から発見された

ヤーヤさんの アラビア語講座

مساء الخير	メサエル キール	こんにちは
شكرا	ソーラ サイダ	こんばんは
مع السلامة	マーエル サラーマ	さようなら
ليلة سعيدة	ショクラン	ありがとう

ヤーヤ ザカリ亞さん
(エジプト・アラブ共和国)

HELLO
KAGOSHIMA
ハロー鹿児島



2月16日 桜島冠雪



1月25日 サンエールかごしま(生涯学習プラザ・男女共同参画センター)オープン

荒田一丁目の樟南高校跡地に完成しました。生涯学習と、男女共同参画推進の拠点となります。



2月21日 新年度予算案発表

平成13年度の予算案についての記者会見を行いました。予算額は約1,863億円（一般会計）で、ソフト面の充実を図った予算となっています。



1月30日 男女共同参画都市かごしま宣言

男女共同参画は、一人ひとりの意識を変えることから始まります。男女がお互いを尊重しあい、性別に関係なく個性を生かせるまちをみんなでつくっていくことを宣言しました。

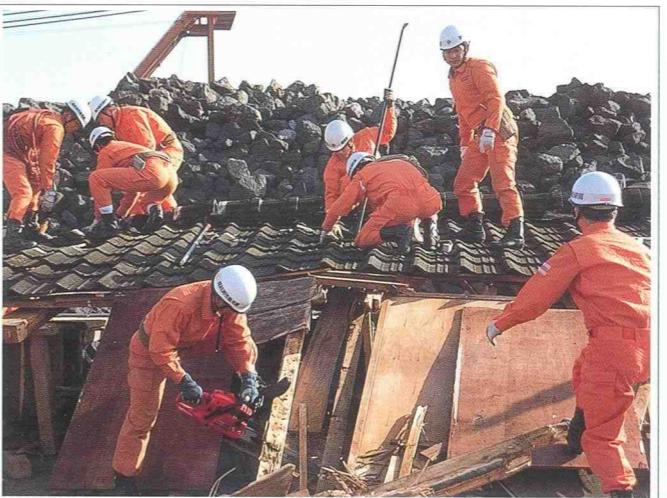


3月1日 ノンステップバス運行開始

市交通局は12台のノンステップバスを導入しました。低床でスロープ板を降ろすことで、車いすで楽に乗降できます。



2月12日 千葉ロッテマリーンズ球団鹿児島キャンプ激励訪問
たくさんの子どもたちが声援を送る中、今年の活躍を願って、鹿児島産の黒牛とみかんジュースを送りました。



1月12日 桜島火山爆発総合防災訓練

甚大な被害を受けた大正3年の大爆発の日に行われています。今年も関係機関や市民が参加して、万一のときに備え、真剣な訓練が行われました。



1月14日 ボランティアセンターオープン

山下町に昨年末完成した市民福祉プラザに、ボランティアの拠点となるボランティアセンターがオープンしました。ボランティアフェスタが開催され、ボランティア体験や相談に多くの市民が訪れました。

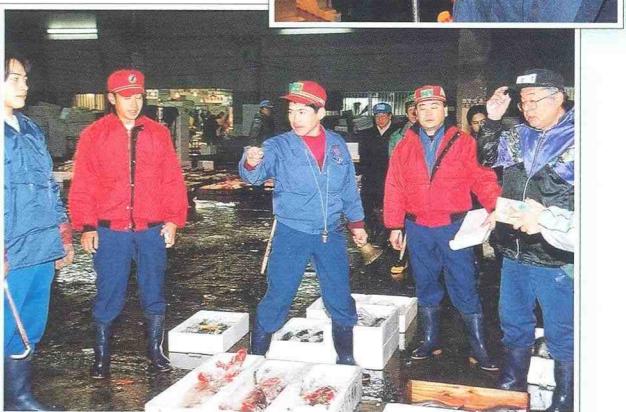


1月19日 新世紀オープニングフォーラム in かごしま
慶應義塾大学教授の竹中平蔵氏の講演に多くの市民が集まりました。



1月5日 初せり

今年最初のせりを告げる鐘が、まだ暗い空に高らかに響きました。~魚類市場にて



1月6日 消防出初式

今回は地震災害を想定し、市民によるバケツリレーでの初期消火訓練のほか、迫力の救助・放水訓練などが行われました。

伝統ある校風「敬・愛・信」



三方限文化ホール（美術館）は、空き教室を利用して、平成10年2月に開館。
卒業生や在任した先生の絵画が展示されている



51回目の体育祭。学年ごとのチーム対抗



全校朝礼は生徒会の司会で進められる



丹精こめて育てられた花は、卒業式の舞台に飾られる



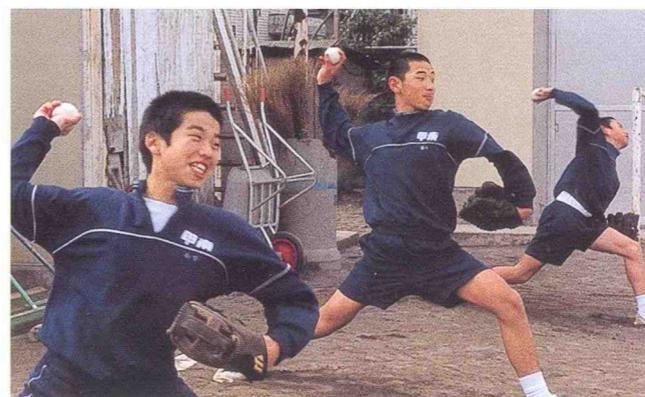
学校探訪

甲南中学校

創立 昭和22年 生徒数 330人（平成13年3月1日現在）



給食時間はみんなが楽しく語らうひととき



甲南中学校 卒業生からのメッセージ

ここが好き ここが自慢

甲南中学校は、昭和二十二年に創立された伝統ある学校です。昭和三十八年ごろは五十三学級、生徒数二千人を超える市内でも有数のマンモス校でした。生徒数は減りましたが、今も昔と変わらず活気に満ちあふれています。これからも、ずっと生徒の元気な声が響くことでしょう。

神野さやかさん

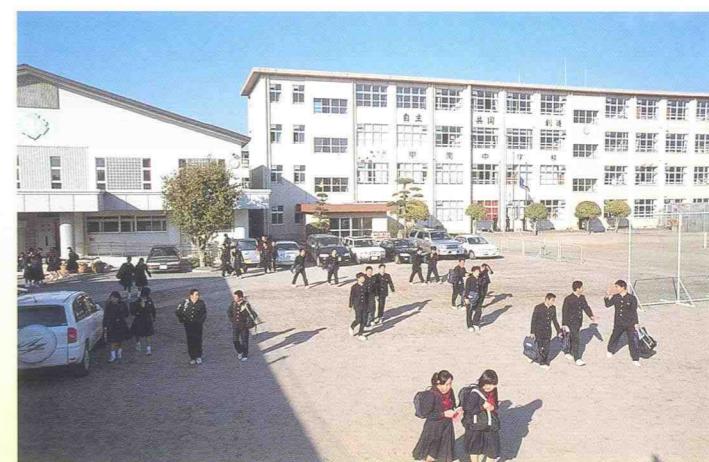
上荒田・上之園・高麗の三町からなる地域を「三方限（さんぼうぎり）」といいます。三方限からは、西郷隆盛や大久保利通をはじめ、明治維新やその他多くの分野で活躍された偉人が四十八人出ています。この地域に甲南中学校があることを誇りにし、またその歴史を伝えていきたいと思います。

吉留大倫さん

ここまで協力し、まとまり合えた行事があつただろうか。私を感じさせた行事、それは体育祭です。応援団と選手が一つになって自分のチームを応援し、お互いのチームが真剣に競い合い、終わった後はさわやかさがあります。私はこの行事を一生の思い出にしていきます。

福山麻美さん

生徒会長 中野一静さん



通学距離はおおむね2km以内で、全員が徒歩で通学している



三方限の碑は昭和10年に建立。



和の好きな場所

My favorite Place

ふる里の木
いちょうの木が近づいてくる
はるかな一ページはめくられ
思い出のおしばながほほえんでいる
せんだんの木が語りかけてくる
幼き日々が風に吹かれ雲にのつて
なつかしく広がっていく

童話作家
たに けいこさん

校庭の木はわたしの心のふる里

たに けいこ

大龍小学校

戦後間もない昭和25年春、私は大龍小学校の門をくぐりました。当時は、戦争で何もかもが焼けてしまった後。幼かつた私を迎えてくれたのは、校庭に立つ、イチョウやセンダンの木々でした。

小学生時代の遊びといえば、夏は木陰でおしゃべり、冬は寒い教室を出て、ひなたぼっこやおしくらまんじゅう。どの風景にも大きな「木」がありました。

イチョウの木の思い出は、なんといつても押し花。校庭の落ち葉の中からきれいなものを選び、それを押し花にして本のしおりに使う。そういえば、学校の帰り道の空き地などで見つけたスミレや三つ葉のクローバーで、首飾りをつくったりもしました。物のない時代、身の回りの木や草花を遊びや生活の中に取り入れていました。

ところで、日本は世界第2位の紙の消費国。命ある植物からつくられた紙には、一本の木が大きくなるまでの何十年もの歴史がつまっています。

紙はできるだけ大切に使い、また再生紙の利用を増やしていくば、地球上にある大切な木を少しでも切らずに済みます。森が失われる前に、今できることをする。そんな気持ちで私の心はいっぱいです。



【取材メモ】

大龍小、長田中、玉龍高校と上町の豊かな緑の中で育つ。童話作家として活躍する一方、グリーン購入ネットワークがごしま代表として、再生紙普及運動などにも取り組む。本市都市景観懇話会、緑化懇話会の各委員。

て、自然とのふれあいの中で成長していったんだと思います。

童話作家として、またイラストや映像の世界と関わっていく中で、どんなときも「木」は私の心のよりどころとなっていました。遠足で行つた慈眼寺や城山などの深い木立は別格として、子育て時代に通つた近くの公園や学校にも、必ずと言つていいほど、私が心引かれる大きな木がありました。それらの木々は四季折々に、美しい姿で私を楽しませてくれました。

は日々の生活とはちょっと違う、私の世界が広がっているかのようです。そして、黙つて立つて木々は私に語りかけてくるようです。



シラス台地に連なる団地群
戦後の人団地集中は
鹿児島市の風景を変えた

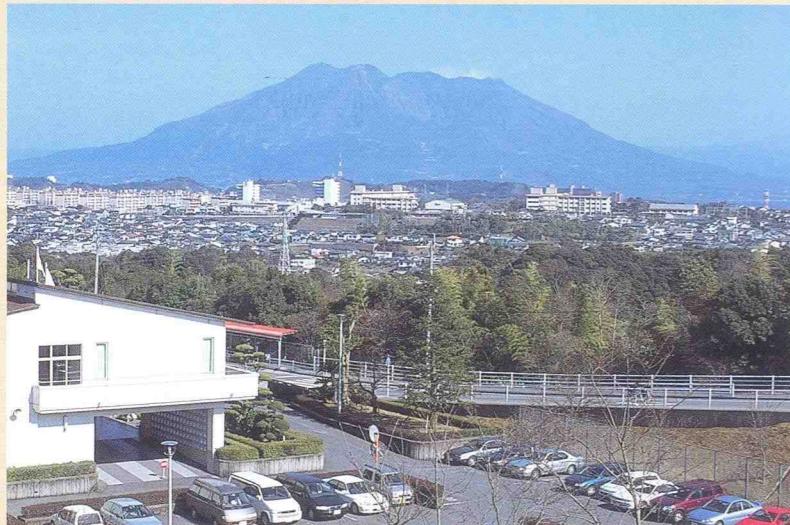
シラス台地の急な崖は雑木林となり、城下土民の薪炭供給地でした。なかでも柱は、東郷重位以来薩摩藩で広まつた示現流の木刀に最適とされたので、仁才たちは良木を求めて駆けまわり、心身鍛錬の場になりました。

参勤交代には日向路や大口街道もありましたが、最も多く使われたのは熊本に通じる九州街道でした。鹿児島城を出た大名行列は、千石馬場から西田橋へ向い、西田町の町門をくぐって水上坂を上りました。こ

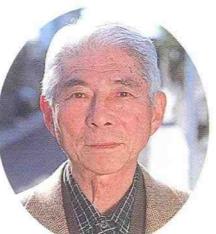
こは今でも急坂ですから、当時はもつと急だつたのでしょうか。この程度の坂にへこたれないように、青少年教育の「仁才咄相中撻」に、「山坂達者」の一項があります。

明治二十年（一八八七）、国道三七号（現三号）が伊敷方向に開削されると、荷馬車などは新道に流れ、旧道はさびれました。

台地の道



参勤交代の一回は、この桜島に何を思ったか。
(旧九州街道・武岡台高校付近にて。写真中央に見えるのは原良団地)



《筆者より》

私の歴史は史料中心

歴史は理論より考証が好きな方です。もともと歴史とは、文字で書かれた記録を利用する学問ですから、史料がなければ歴史は書けません。鹿児島の歴史を書いたり話したりするときには、先人の著作を孫引きしないで、できるだけ原史料を使うようにしています。また、史料も一つでは説得力が弱いので、納得させるためには二つ以上の史料を探すようにしてい

宮下 満郎

Mitsurou Miyashita
昭和30年熊本大学史学科卒業。鶴丸高校、甲南高校教諭のほか県維新史料編さん所に勤務する。平成6年から10年まで維新ふるさと館歴史解説員。現在、市文化財審議会委員、県史料刊行委員。

野岡の富

シラス台地の急な崖は雑木林となり、城下土民の薪炭供給地でした。なかでも柱は、東郷重位以来薩摩藩で広まつた示現流の木刀に最適とされたので、仁才たちは良木を求めて駆けまわり、心身鍛錬の場になりました。

野岡に自生するセリ・ワラビやツツブキなどの野草は、お救い米で細々と生きる貧窮武士たちの生命をつなぎました。夏の乾燥に強い甘藷が栽培されるようになると、次第に台地が開拓されて、甘藷は多くの人たちの飢えを救つてくれました。

旧道にあった水上坂・横井の御仮屋跡は、今となつては分かりませんが、武岡団地の尾根から走る道は、横井付近まで曲がりくねつた道が続き、九州街道の趣きを今に伝えてています。犬迫町の北部清掃工場に入る信号機の手前、バス停「番屋下」は、火立番所の跡とも考えられます。

旧藩時代、旅人の休息地となつた横井町は、台地を上りきつたところにあります。新道開削後も近村からの利用者があり、戦前までは数件の茶屋が営業していたそ

宅地開発

戦後の高度経済成長の波は、鹿児島市への人口集中をもたらしました。低地の水田がまたたく間に宅地化されると、紫原台地を皮切りに、周辺の台地は次々に団地として開発されて、台地上に市街地が出現しました。人が住むには不便な台地だったので、道路や上下水道の発達と車社会の到来が、台地の住宅化を可能にしたのでした。

※宮下先生執筆のシリーズは、今回で終了します。

ご愛読ありがとうございました。



建設が進む紫原団地。台地上には、まだ畠が広がる。(昭和33年。写真は現在の紫原一丁目)

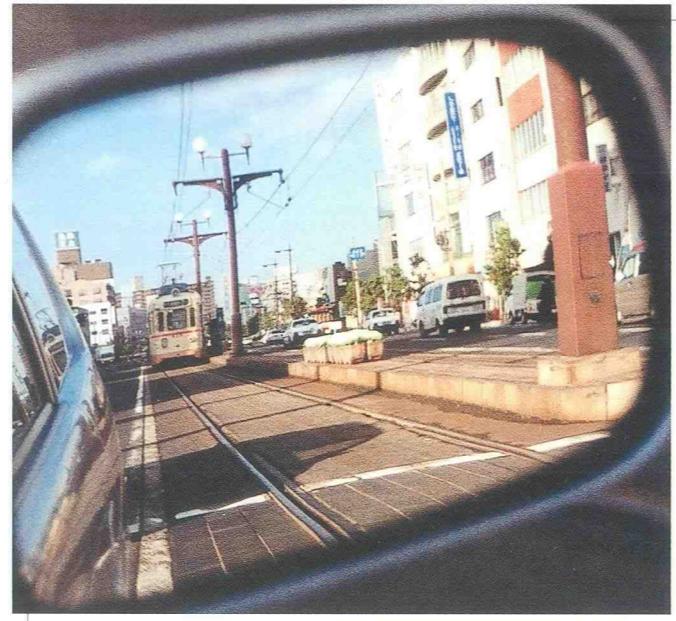
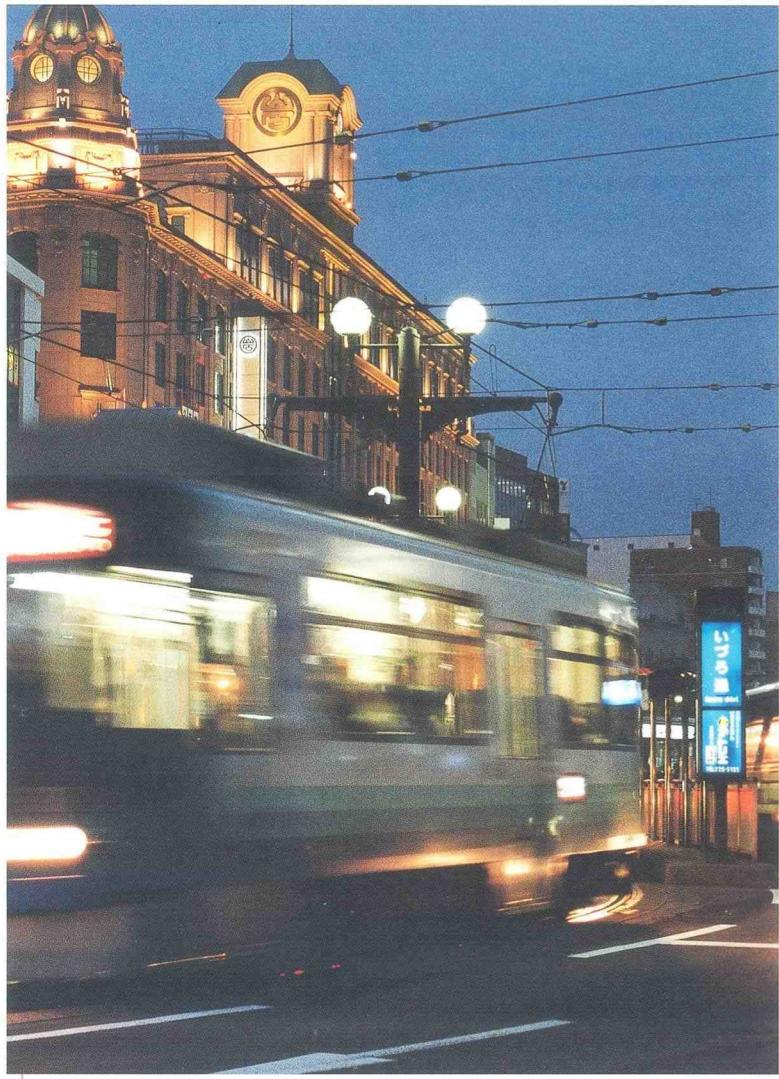
台地端に山城

シラス台地を利用した記録は中世からみられます。南北朝以後、土豪武士間に所領をめぐる争いが起ると、台地の先端部が陣地として利用されました。島津氏久と戦った南朝方の畠山直顕が、野本・原羅に墨を構えたのを手始めに、戦国時代にかけて、東福寺城・上山城・催馬楽城・勝岡城・比志島城などの山城が築かれました。

江戸時代になると、城は藩主の居所兼政庁としての鹿児島城（鶴丸城）だけになり、周辺の山城は役目を終えましたが、要地には遠見番所や火立番所が置かれ、鹿児島城防衛の役目を担いました。

かつて雑木林や畠地に利用されていたシラス台地が、近代的な市街地に変化したのは、高度成長期に始まつた宅地造成以来のことです。幾つかの大型団地を核に、まわりの野岡も宅地化され、鹿児島市街地が台地上まで拡大されました。

シラス台地の歴史



あなたの
Your Photo Salon
フォトサロン

「市電のある風景」

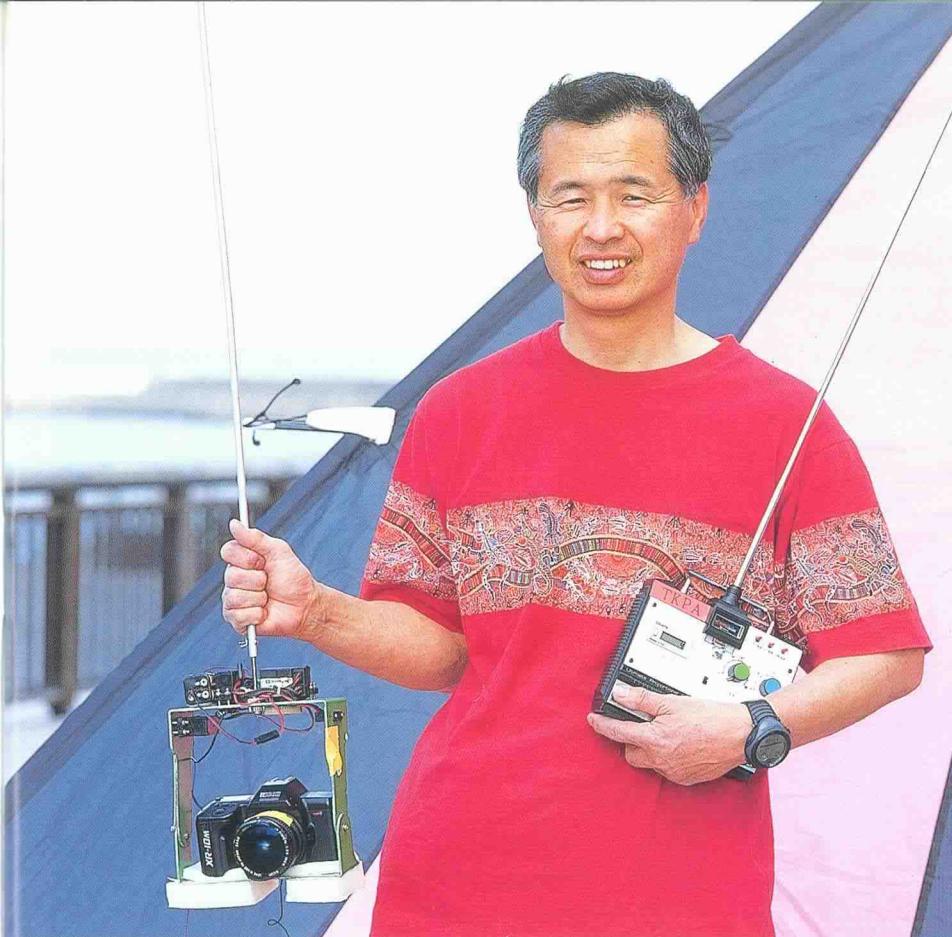
写真 春田 千恵子さん

さまざまな風景の中を走る市電。
絵になるポイント探しが楽しいです。



YOKA TIME

よがタイム



カイトフォト 坂上 治比己さん

◀左手で抱えているのが送信機。
これで空に揚げたカメラを操作する。
後方はカイト(凧)。

よがタイム 5つの質問

Q3

それでカイトフォトに?

そう、二つの趣味が融合した形になったですね。でも、最初のうちはやり方が分からず、カメラが100mの高さから落ちたらと考へると、怖くてなかなかできませんでした。

Q2

凧との出逢いは?

10年くらい前、新春凧あげ大会の見学に行つたんですが、ふだんは小さく収納されている凧が空に揚がったときの迫力に魅せられました。

Q1

元々写真が趣味だったとか?

はい、父が写真が好きで、私も一眼レフで中学生の頃から撮っていました。

1本撮って納得できるのは2枚といったところでしょうか。でも、はるか上空から雄大な光景を思い描いてシャッターを切る瞬間の心地よさは格別ですね。

Q5

出来栄えはいかがですか?

手元の送信機で操作しますが、カメラは左右に360度回転します。そして、前後に90度倒れます。また、カメラは軽いものを使っています。

Q4

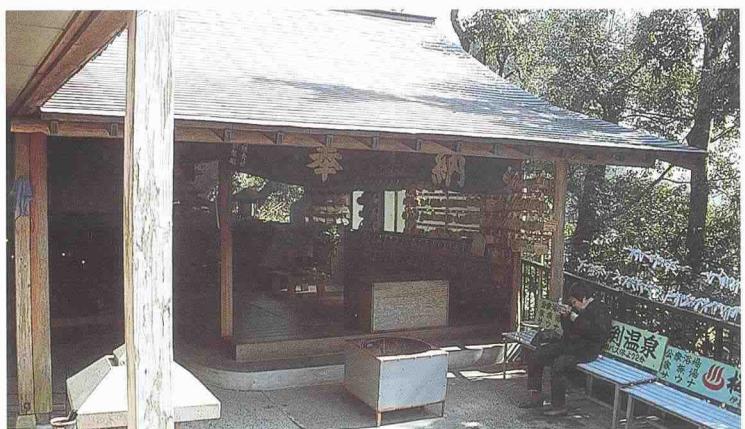
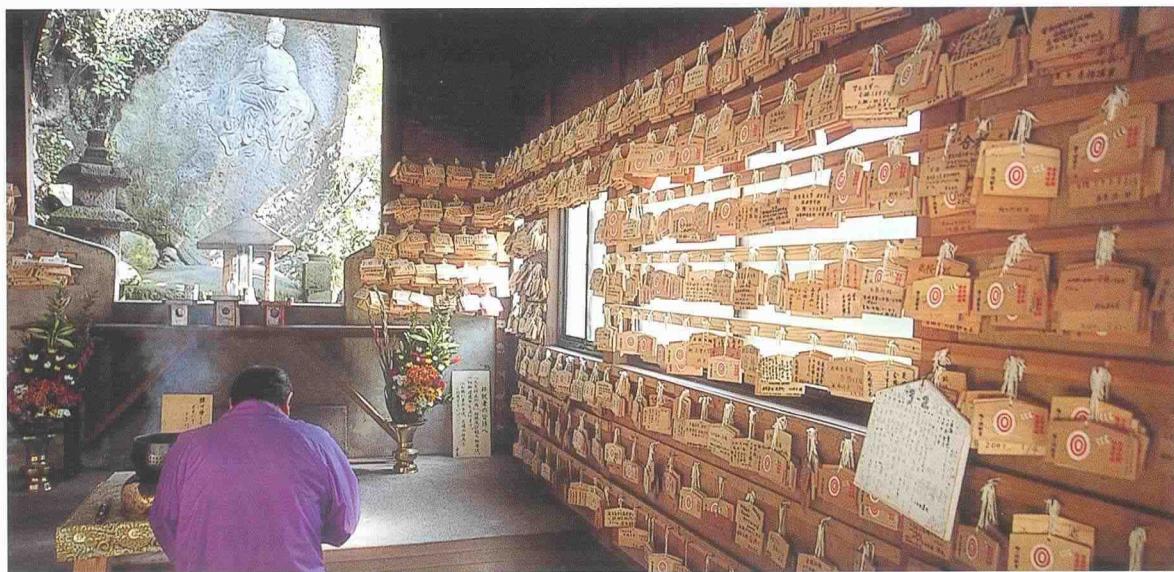
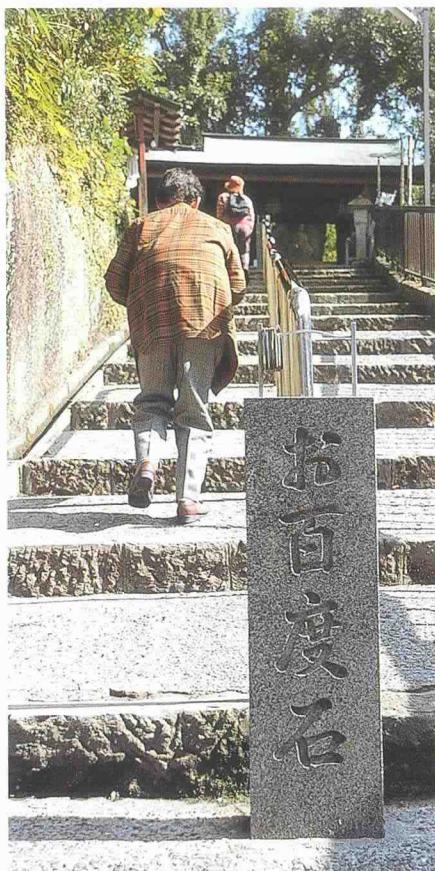
カメラは遠隔操作ですか?



▶上空より撮った都市農業センター。凧の糸と、凧を揚げている坂上さん自身も写っている。

写真と凧という二つの趣味がカイトフォトに結びついたのは、いわば必然。坂上さんのライフワークです。

街角ウォッチング ～梅ヶ渕～





はまなす（洋裁）

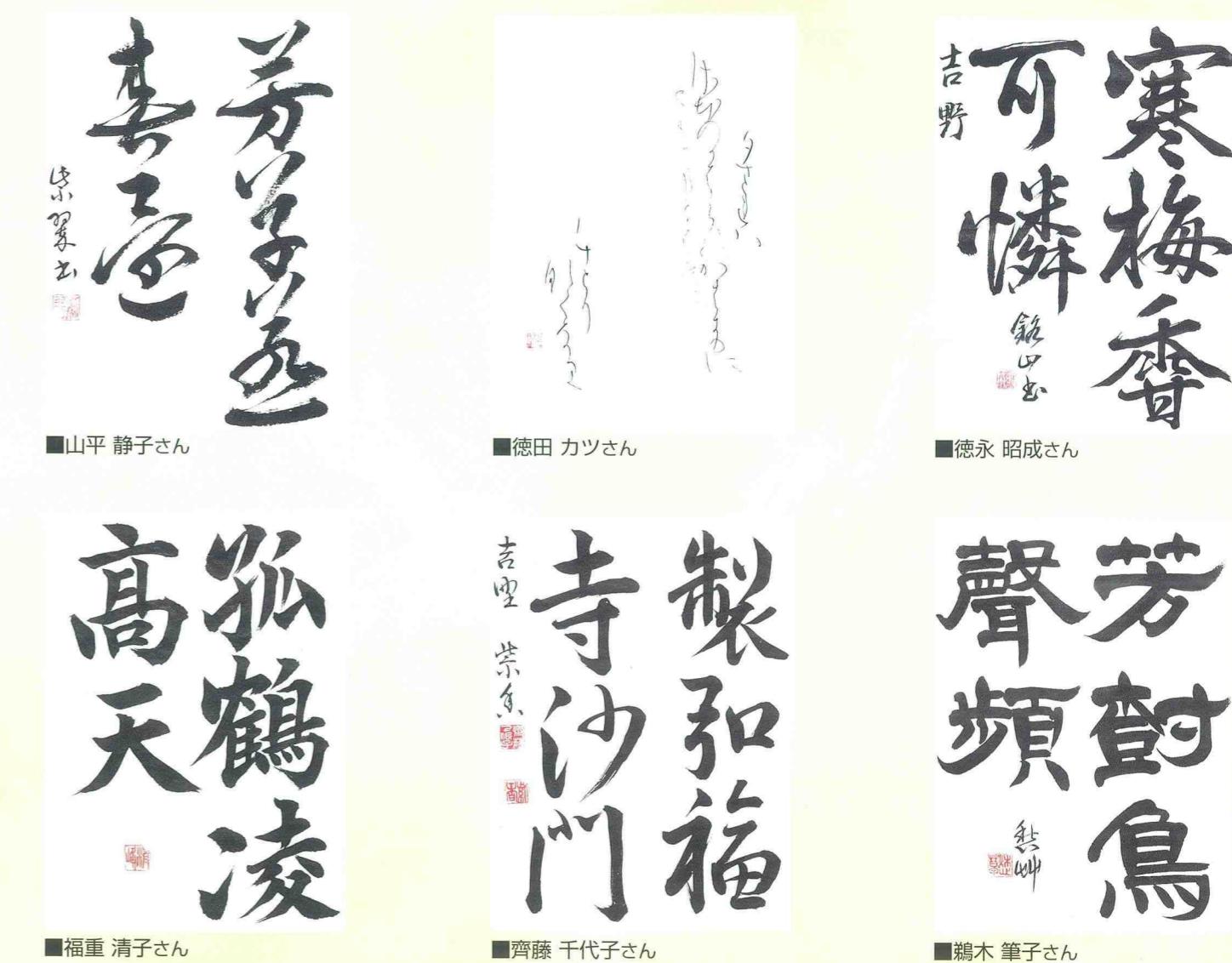


「好きだから楽しい」と朗らかに笑うみなさん。既製品の服は安くでたくさんあるけれど、やっぱり自分で気に入ったものを作りたい。

襟や袖をつけるところが一番難しい。チエックなどの柄物になると、模様を合わせるのも気をつかう。「でも、きちんと採寸して、型紙からしっかりと作っているので、失敗したことではないんですよ」

丁寧に縫い上げた服を小糸に着こなす。

毛筆書道

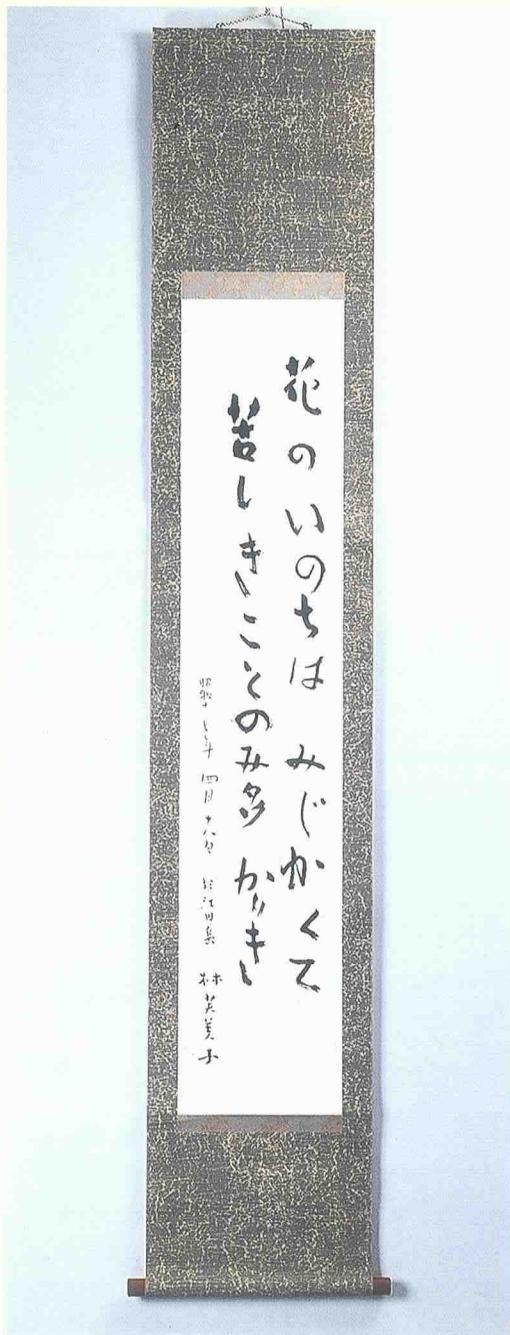


筆先に全神経を集中させ、一気に書き上げる。「一人で練習するより、みんなで同じ空気を共有したほうが楽しい」と会員のみなさん。

「字には個性が出ます。楷書が好きな人、行書が上手な人、それぞれ得意分野があるんですよ」。互いの良いところを学び合いながら上達している。目標は、自分の作品だと読れるようなものを残していくこと。

かごしま近代文学館

自筆「花のいのちはみじかくて~」



この詩は、林芙美子が揮毫を頼まれた時に、特に好んで書いたことで有名です。一説によると、詩集「面影」の「ギリシャ詩」の一節が原形ではないかといわれています。

この掛軸は、昭和17年4月、作家壺井栄と一緒に江田島の海軍兵学校を見学に行った時に書かれたものです。

本市の、桜島古里温泉に、この詩を刻んだ林芙美子の文学碑が建立されています。

(かごしま近代文学館 津田修造)

<作家の紹介>

林 芙美子 (1903~1951)

昭和5年「放浪記」を発表し、一躍新進作家として認められた。母キクと同じ鹿児島市東桜島の古里が本籍地の鹿児島ゆかりの作家である。

わが町

上空散歩

Wagamachi Jo-ku-sanpo



■武岡・原良団地 上空から

[写真]手前、三角形の校庭をもつのは武岡台小学校です。その左の道路は九州自動車道。伊敷方面に向かってのびています。手前、丸い屋根のついた建物は市の水道局原良配水池です。中央には明和中央公園、その右に明和中学校（手前）と明和小学校が見えています。

市民ツリー・鹿児島

No.84

編集発行／鹿児島市広報課

鹿児島市山下町11の1 電話 0161-111-333

印刷・レイアウト／瀬上印刷(株)



R100

この広報誌は、古紙配合率100%の
再生紙を使用しています。